

# 第59回放送番組審議会

## 議事録

平成27年4月24日

すまいるエフエム株式会社

番組審議会議事録

- 1 開催年月日 平成27年4月24日 金曜日 午後7時30分より
- 2 開催場所 新座市 にいざほっとプラザ 4階 会議室2
- 3 委員の出席 委員の総数 6名
- 出席委員数 3名
- 出席委員の氏名 山谷 真名 委員長
- 野口 敏明
- 原藤 光

放送事業者側出席者氏名

代表取締役 柏木 恭一

制作・審議会担当 勝村 一介

#### 4 議題

[報告事項] 1. その他

[諮問事項] なし

[審議事項] 1. 番組「カウントダウンすまいる」について

2. その他

[協議事項] 1. その他

#### 5 議事の概要

放送事業者側から開会の挨拶の後、議題審議に入った。

#### 6 審議内容

議長 まずは報告事項をお願いします。

局員 来週で開局8周年となる。

10年一区切りと考えていて、2年かけて自立できるようにしていく。

2年間かけて模索していく。10周年ではお祝い企画も考えている。

みずほ台でコミュニティFMの開局を目指しているグループがある。

前より相談にのっていることもあり、番組の提供であるとか兄弟FMみたいな形で業務協力も考えている。営業的にも面白くなるのでは、と考えている。

議長 それでは、「カウントダウンすまいる」について、審議します。

委員 DJ育成講座の生徒が作る番組ということを書いて、わかりやすかった。

内容的には音楽番組で聴き易かった。

ちゃんとフェードイン、フェードアウト、BGMの被せとか、聴き易くする基本的な部分はしっかりしているなど思いながら聴けた。

この講座はどのような人が受講しているのか。初めての人が多いのか。

局員 初めての人もいるが、ちょっと（喋りについて）かじっている人の方が多い。

喋るスキルをアップさせたい人であるとか、喋る仕事をしていて機材の操作も学びたい人が来ている様な感じであり、純粋にラジオだけをやりたいという人は少ない気がする。

委員 洋楽のカウントダウンということで始まったので、ずっとその内容で来るのかと思ったら、途中からパーソナリティの好きな曲ということでコーナーを作っていて、洋楽のカウントダウンとの繋がりが良くわからない。

時間を埋めるために何でも入れて、てんこ盛りになり過ぎているような気がした。

カウントダウンと別のメッセージがある番組であるなら、タイトルを変えた方がいいのではないか。

洋楽のカウントダウンということで進めていたのに、最後の曲は（邦楽の）ウルフルズだったのも変である。

パーソナリティ3人が仲良く一所懸命やっているのは伝わってきた。ちょっと言葉とか合っていないこともあったが、それはそれで好感を持って聴くことができた。

番組始まって洋楽バリバリで行くのかと思っていたら違ったので、タイトルを変えるとか、冒頭でそのことを伝えるとかした方が良い。

洋楽を楽しみにしている人にとっては、「あれ？」と思う。

曲の尺の取り方と構成を考えた方が良いと思った。

委員 番組の始めに育成講座のメンバーが作っているというのが入っていたので、BBCのようにしっかりしているというわけではなく、話し方も素人っぽさがありながらも、きちりやっているなと思った。私は良く聴くことができた。

最近、洋楽はあまり聴いていなかったので「こういうのが流行っているんだ」と思って楽しんで聴くことができた。

洋楽のカウントダウンなのに、「急に？」ということも無きにしも非ずだった。

カウントダウンも淡々とやっているような感じだった。

「別の回はどんな感じなんだろう」と思った。

育成講座の説明をどういう風にやっているのか、説明があっても良いのかと思った。

委員 メンバー同士の裏話なども入れてもいいかもしれない。

お互いの絡みが少なく、取って付けたような感じであった。

委員 もっと個性を出せるようにしてもいいのではないかな。

委員 パーソナリティの名前が聞き取り辛いなど、それぞれの実力もあるのだろう。

委員 もっと時間が経ってからの喋りも聴いてみたい。

その他 今後の審議会について、日程を確認した。

次回開催予定は、平成27年6月26日 午後7時30分より。

- 7 審議機関の答申または改善に対してとった措置  
担当者に報告し、今後の番組制作の参考とした。
- 8 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、  
方法及び年月日  
4月27日（月）社内にて報告した他、社内掲示を行った。
- 9 その他の参考事項 なし

社名	すまいるエフエム株式会社
----	--------------